

主催：文科省科研費基盤研究(C) JP22K00060 & (B) JP19H01191

日中国際ワークショップ「漢文大蔵経と高僧伝」

日時：2024年7月23日－24日

会場：国際仏教学大学院大学・春日講堂

一、趣旨

この度、文部科学省科研費基盤研究(C) JP22K00060「元代官版大蔵経の総合的研究と大蔵経系譜論の再考」(研究代表者：国際仏教学大学院大学・池麗梅)、基盤研究(B) JP19H01191「名取新宮寺一切経本を中心とした『続高僧伝』の総合的研究」(研究代表者：東北大学・齋藤智寛)の助成により、日中国際ワークショップ「漢文大蔵経と高僧伝」を開催いたします。本ワークショップは、漢文大蔵経および高僧伝に関する最新の研究成果を共有し、専門家間の意見交換を促進することを目的としています。

漢文大蔵経は、仏教經典の体系的な集成であり、その形成と展開は仏教史研究において重要なテーマとなっています。一方、高僧伝は、中国仏教の歴史における傑出した僧侶たちの伝記集であり、その研究は仏教の歴史、思想と文化の理解を深める上で欠かせないものです。本ワークショップでは、これらの研究対象に対する新たな視点や知見を紹介し、参加者間の活発な議論を通じて、さらなる研究の深化を図ります。

初日(7月23日)には、『高僧伝』と『続高僧伝』に関する研究発表が行われ、午前のセッションでは、中国および日本の研究者がそれぞれの見解を発表します。午後には、写本大蔵経および刊本大蔵経に関する最新の研究が紹介されます。二日目(7月24日)には、総合討論が予定されており、これまでの発表を踏まえた包括的な議論が行われます。

このワークショップが、漢文大蔵経および高僧伝に関する新たな研究の地平を開き、日中の仏教研究のさらなる発展に寄与することを願っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

二、プログラム

1、7月23日 (火)

開会の挨拶 (10:00-10:15)

①午前の部 『高僧伝』と『続高僧伝』 (10:15-12:25)

司会：池 麗梅

コメンテーター：齋藤 智寛 (東北大学大学院文学研究科・教授)

陳 志遠 (中国社会科学院古代史研究所副研究員、国際仏教学大学院大学客員研究員)

「《高僧傳》卷五的問題点和新知見—以《僧朗伝》為中心」 (10:15-10:40)

定源 (上海師範大学・副教授)

「到底是誰修訂了《高僧傳》—从慧皎自序談起」 (10:40-11:05)

齊藤 達也 (国際仏教学大学院大学・図書館副館長)

「日本古写経本『続高僧伝』の諸相」 (11:05-11:30)

堀 裕 (東北大学大学院文学研究科・教授)

「新宮寺本『続高僧伝』卷四の位置付け」 (11:30-11:55)

コメントと質疑応答 (11:55-12:25)

昼休み (12:25-13:15)

②午後の部 漢文大藏經研究の最前線

Part I : 写本大藏經の諸問題 (13:15-15:00)

司会 : 定源

コメンテーター : 上杉 智英

林寺 正俊 (北海道大学大学院文学研究院・教授)

「奈良勅定一切經に見る日本古写一切經の源流と特質」 (13:15-13:40)

張 旭 (中国社会科学院世界宗教研究所・助理研究員)

「《大集經》的異本和文本流變」 (13:40-14:05)

王 磊 (中山大學哲學系・副教授)

「中古時期佛教藏經的傳播與〈四分律〉的文本流變」 (14:05-14:30)

コメントと質疑応答 (14:30-15:00)

休憩 (15:00-15:15)

Part II : 刊本大藏經の形成と展開 (15 : 15-17 : 00)

司会 : 齋藤 智寛

コメンテーター : 定源

上杉 智英 (京都国立博物館・学芸部主任研究員)

「刊本大藏經の形成以前」 (15:15-15:40)

張 德偉 (暨南大学・副教授)

"A Creative Destruction: New Light on the *Zhiyuan fabao kantong zonglu* 至元法寶勘同總録" (15:40-16:05)

池 麗梅 (国際仏教学大学院大学・教授)

「漢文大藏經と『続高僧伝』」 (16:05-16:30)

コメントと質疑応答 (16:30-17:00)

2、7月24日 (水)

総合討論 (10:00-13:00)

司会 : 林寺 正俊